

## 小4国語 出題のねらいと対策

### 1 漢字の読み書き 68.1%

**ねらい**：まちがえやすい漢字に注意し、正しい読み書きができるか問う。

**分析と対策**：筆順や画数に注意が必要な漢字は、ふだんから気をつけていねいに書く練習をしましょう。

### 2 漢字辞典の使い方 54.2%

**ねらい**：漢字辞典を引くときの手がかりである部首と総画数について問う。

**分析と対策**：漢字の読み方がわからないときは、部首索引を使うと便利です。「投」のように、部首としてあつかわれる部分が複数入っているもの（「投」なら、「てへん」と「るまた」）は、どちらが部首なのかを明確に覚えておきましょう。読み方も部首もわからないときには、総画索引を使います。総画数を調べるとき、「己」「卩」「讠」「廴」は三画、「夂」は五画など、まちがえやすいものは特に注意して正しく覚えるようにしましょう。

### 3 こそあどことば 87.5%

**ねらい**：「こそあどことば」の使い分けの理解を問う。

**分析と対策**：もの・事がらを表すもの、場所を表すもの、方角を表すもの、性質や状態を表すものを、「こ」・「そ」・「あ」・「ど」ごとに整理して覚えておきましょう。直前でのべたことばをもう一度くり返すのではなく、「こそあどことば」におきかえていることを理解し、そのうえで、どのことばを指しているかをとらえられるようにしましょう。

### 4 詩と鑑賞文の読みとり 49.3%

**ねらい**：詩と鑑賞文を照らし合わせて読み、詩的な表現の内容をとらえる。

**分析と対策**：新川和江の「季節」という詩からの出題です。この詩は、詩を作る過程を、木の実や豆などが熟して落ちるまでの様子と重ねることで、詩を生み出すまでの作者の思いを表現しています。(1)は詩のまとまりに関する問題です。(2)は表現技法に関する問題です。(3)(4)は詩でうたわれている内容に関する問題です。(5)は詩にこめられた作者の思いに関する問題です。鑑賞文をよく読み、理解しましょう。

### 5 物語の読みとり 38.8%

**ねらい**：登場人物の行動や気持ちを読みとる。

**分析と対策**：竹内もと代の「元気じるしの夏物語」からの出題です。あずさ、比呂、葉子の三人が、きりでん下の海でじじみとりをするための下見に行く場面です。さんばしから自分たちが見えるのではないかと心配するあずさや、それについてもぬかりなく行動していた用意周到な葉子の性格を、それぞれの行動から読みとりましょう。(2)は文章中の表現から、海の様子を読みとる問題です。直接的な表現で書かれていないことを読みとる必要があります。(3)(7)はあずさの心情に関する問題です。葉子と比呂とのやりとりから心情を理解しましょう。(8)は本文の内容に関する問題です。不正解の選択肢も、どこがちがうのか確認しましょう。

全体の平均点は54.0点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。